

『学芸大学駅周辺地区整備計画』及び『学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画』の実現に向けて

目黒区では現在、学芸大学駅周辺地区の大きな課題の一つである、“安心・安全・快適な歩行ネットワークを形成”するため、国の補助制度である『あんしん歩行エリア形成事業』を活用した取り組みを進めています。

「整備順序の考え方」に基づき、平成23年度は以下に示す整備を進めています。平成24・25年度整備予定事業（東西商店街通り）については、交通管理者等と協議を行っています。

今後の具体的な整備内容については、「地区懇談会」や「説明会」の開催、「学大 街づくり通信」などで、地区住民のみなさんへ周知してまいります。

平成23年度の交通安全対策について



★整備順序の考え方

- 1) 自動車交通が集中し、かつ、通過交通比率が高い路線
- 2) 歩行者が集中する「歩行者優先ゾーン」や児童への注意が特に必要となる「スクールゾーン」に接する路線とそのゾーン内側の路線
- 3) ヒヤリハット地図等により、危険度が高いとの指摘が多い路線や交差点

鷹番通りにおける交通安全対策

現在、鷹番通りは、目黒通りと駒沢通りを結ぶ通り抜け道路として利用され、通過交通が多い道路となっています。

そこで区では、『あんしん歩行エリア形成事業計画』をもとに、自動車運転者に注意を促し、速度抑制、事故防止を図ることを目的として、交通管理者と協議・調整を進め、以下の対策を講じました。

1. 「あんしん歩行エリア」入口の「路面標示」



■ 学芸大学駅周辺地区は、「あんしん歩行エリア」に指定されています。

そこで、「あんしん歩行エリア」入口の「路面標示」をはじめ、センターラインの消去や路側帯の拡幅、歩行空間のカラー化による車のスピード抑制及び歩行空間の明瞭化を図ることとしました。

2. 「路側帯(歩行空間)の拡幅」などによる歩行空間の安全性確保



■ 交差点手前での「イメージ狭さく」や「歩行者注意強調標示」、交差点内のカラー化などを行うことで、自動車運転者への注意喚起、スピード抑制を促し、出会い頭の事故防止や、歩行者の安全性確保を図ることとしました。

3. 「路側帯(歩行空間)」のカラー化による歩行空間の明確化



4. 交差点手前での「イメージ狭さく」等による車のスピード抑制



5. 交差点の「カラー化」等による交差点部の明確化

「あんしん歩行エリア」とは

「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」で、国土交通省及び警察庁が、歩行者や自転車の安全通行の確保のために、総合的な安全対策を面的に進める地区として選定したエリアのことです。

※ 写真は、鷹番通り（目黒通り～唐ヶ崎通り）

▼ 街づくりの取り組みを紹介します！

あんしん歩行エリア入口での対策

あんしん歩行エリアを示す標識の設置による運転者への注意喚起を行います

◆エリア標識イメージ



幹線道路から地区内への車両の流入抑制及び運転者にスピード抑制を促すため、学芸大学駅周辺地区「あんしん歩行エリア」外周部の交差点（入口）に、エリア標識を設置します。

安心して回遊を楽しむことができる

歩行空間のある「あんしん歩行エリア」をイメージ

- 学大地区の特徴の一つである「買い物」の要素に着目し、子ども連れでも、安心して楽しむことができる空間であることを表現
- 道路をハートにつなげることで、安心をイメージ
- 黄色いエリア：カラー化された歩行部をイメージ

平成 24 年度の交通安全対策 東西商店街通り(歩行者優先ゾーン内)

全面カラー舗装化、歩行者空間の明確化により、自動車の通行抑制、歩行者の安全性を確保します

東西商店街を訪れる人々が、安全に安心して買い物や往来ができる空間づくりに向けて、次のような交通安全対策の取り組みを予定しています。

- (1) 自動車の通行を抑制するため、全面カラー舗装化により、エリア内の他の路線との違いを強調します。
- (2) 歩行者の安全のため、歩道と車道とを白線により区分するとともに、歩道部を車道部より明るい色にして、運転者からの視認性を高めます。



西口駅前対策後イメージ

また、交通安全対策にあわせて、「お客様が安全に安心して楽しく買い物ができる学大商店街づくり」を目指して、商店街の皆さんと区で、「学大商店街ルール」について話し合いを進めています。

交通安全対策は、「整備順序の考え方」に基づき、順次進めていきます。

- 平成 25 年度：東西商店街通り（歩行者優先ゾーン外）
- 平成 26 年度：唐ヶ崎通り（歩行者優先ゾーン内）
- 平成 27 年度以降：上記以外の路線

商店街の街歩き

現在、学芸大学駅周辺商店街の将来のため、商店街、地元住民などが一体となって、魅力の再発見や課題の確認等を行い、今後の商店街のあるべき姿等について検討を進めています。

その取り組みの一環として「商店街の街歩き」を行っています。区では、こうした商店街の取組みを継続して支援しています。

1. 実行組織：商店街の街づくりを考える会
2. 開催日時

第 1 回目：東西商店街を対象に実施

- 1) 街歩き：平成 23 年 1 月 14 日（月）[参加者：25 名]
- 2) 情報地図の作成：平成 23 年 1 月 22 日（火）[参加者：15 名]

第 2 回目：鷹番三丁目本通り及び公園通り商店街を対象に実施

- 1) 街歩き：平成 23 年 1 月 21 日（水）[参加者：12 名]
- 2) 情報地図の作成：平成 24 年 2 月 8 日（水）[参加者：13 名]

第 3 回目：意見交換会（今後の商店街のあり方について）

平成 24 年 3 月 7 日（水） [参加者：14 名]



放置自転車対策

東急東横線の耐震化工事に伴い整備された高架下の駐輪場は、利用率が高く、多くの人に利用されている状況です。

また、ストアオープンに併せて、東急電鉄、東急ストア、地元商店街等と区とで話し合い、連携・協力しながら自転車利用者の誘導などに取り組んだ結果、ストアオープン後に懸念された駅コンコース内や駅周辺での放置自転車は、見られない状況となっています。

現在、高架下店舗（旧名店街及び旧文化モード街）の工事が進められていますが、仮囲いの撤去後や店舗オープン後は、店舗前の放置自転車が懸念されています。そのため、ストアオープン時と同様、店舗オープンに向けて、東急電鉄、地元と協力した取り組みなどについて、話し合いを行っています。

駅前(西口)における緑地の再整備

駅前(西口)では、歩行者が安全にスムーズに歩くことができるよう、緑地周辺を再整備しました。

- (1) 緑地の縮小
- (2) ガードパイプの撤去
- (3) その他、白線の消去など

【工事期間】平成 23 年 9 月 7 日～10 月 14 日



整備後

問い合わせ先：目黒区都市整備部都市整備課街づくり調整係
電話 5722-9714